

<学校関係者評価委員会実施>

- ・日時：2019年 2月 26日
- ・場所：白頭学院 PTA室
- ・委員会構成（参加者8名）  
    洪隆男教頭 金順子（PTA会長） 洪美恵（PTA副会長） 李朋子 金垠廷  
    安利淳 朴俊錫

生徒アンケート・保護者アンケート・教員自己評価の差に注目して意見を交換しました。

- ・「生徒は授業がわかりやすいと言っている」（生徒・保護者アンケート5番）  
    教員自己評価は高評価であるが、生徒・保護者の評価は高くなく、意識の差が大きい。  
    テスト内容は、基本的且つ難しいレベルとし、60%取れる問題作りを心掛けていると  
    のことだが、テスト1週間前の事前学習期間に、生徒・教員が共に積極的に学習する  
    と同時に、点数が低い生徒への指導の強化が課題である。  
    また、クラブ活動が多忙で成績に影響する不安を感じる、帰宅時間が遅いのに、勉強  
    しなさいと言えない状況との意見があった。子どもには このままクラブ生活が続  
    く訳ではなく、いい加減な勉強をしていたら自分がどうなるのかを、自身で考えさせ  
    ることが重要であるとの意見が出た。  
    進路を見据えて、クラブも学習も頑張り抜く気持ちを育めるよう、学校では教職員が、  
    自宅では保護者が話し合える機会を持てるよう必要である。そのために学校と家庭  
    の協力関係が必要である。  
    クラブ担当教員が生徒に対し、学習態度改善の助言等促すよう働きかけることは可  
    能である。

韓国語の習得を期待したが、現状はそうではなかったとの意見があった。  
生徒の中でも韓国語が得意・不得意の差が大きい印象である  
学校は全てを学ばせることが困難で、不足している部分も多いが、教員の中には、業  
務の傍ら韓国語の学習に取り組み、生徒に対応できるよう励む教員もいる。  
今後も生徒が興味を引くような授業の進め方など、引き続き工夫していただきたい。

- ・「教師は生徒の人権を尊重した態度で生徒に接している」

(生徒アンケート 12 番、保護者アンケート 13 番)

教員自己評価では 100% 当てはまるとなっているが、生徒の 3 割、保護者の 2 割は人権を尊重した態度ではないと感じている。

生徒に対し強めの発言はある程度仕方がないが、人権侵害に関しては双方の感覚が一致しない(教師の発言に込めた思いと生徒の解釈) 事もあり、教員側の伝える努力が必要と思われる。生徒も保護者も一つの発言に捉われず、教員の発言の意味を柔軟に感じる事が徐々に出来れば良いと考える。

- ・アンケートは以前記述欄があったが、今回はなかった。

設問のほかに感じる事を書き込めるようにしてほしい。

親子で意見交換しながらアンケートの回答が出来れば良い。

[総評] アンケートの回答は全体的に肯定的な回答です。生徒・保護者・教員間の意識の相違はありますが、生徒・保護者の満足度は高いと思われます。相互理解を深め、学校生活がより実りあるものになるよう期待します。